

金龍寺

(岡備府中縣より西北三丁金)



〔寺 龍 金〕

く、近傍の田の中より出しきて今金剛力士の朽腐せる一軀を存す、舊物なるべし、伊勢配札帳に吉田寺と記せるより見れば慶長までも舊名を唱へしものなるべし

金龍寺は廣谷村字町にあり、淨土宗にして紫雲山と号し、京都智恩院の末寺なり、開基は覺蓮社圓譽上人眞阿那翁和尚、素と地領三百貫ありしも今は無し按するに元と蓮池山と云ひしも亨保以後に今の山号に改む此寺元と吉田寺といひし天臺の大刹なり二王門の舊跡田の字に残る境内廣

廣島專賣局 府中出張所

(岡備府中縣より北方凡三丁)



〔所出張中府局賣專島廣〕

皆品郡府中町にあり、府中に入らんとするものは先づ、廣大にて質素なる建築物のあるに心着くべし、明治三十年中府中專賣局として建設せられたるも、今は前記の名稱となる葉煙草の收納及び刻煙草の製造を爲しつゝ、ありて多數の職工は日々業務に従ひ、幾十の吏員之を使役監督せり分工場は芦田川畔に設置せられ河水々力を利用して水車の運轉に依りて専ら刻煙草の製造を爲しつゝあり



諸君よ

見落す

勿れ

我釀造の清酒は

- ◎風味が良くて
- ◎永く味の變らぬ
- ◎酔心地の良
- ◎衛生無害の

眞に理想的の酒であります

特約店所在地 東京、大阪、横須賀、下ノ關、四國、福井、

廣島縣芦品郡府中町龜齡橋角

登天晴
録芦田鶴
商標 清酒釀造元

桑田酒場

電話 振替口座大阪一〇七九一番
(九番)

各博覽會出品評會
名譽獎牌教拾個受領

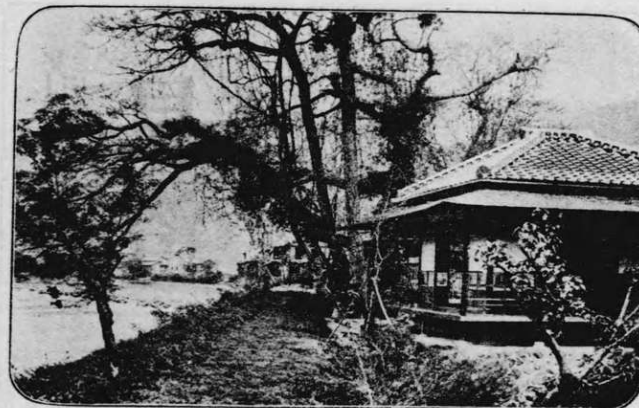
大日本優等清酒



廣島縣芦品郡府中町

安原清三郎釀造

長電話三十番

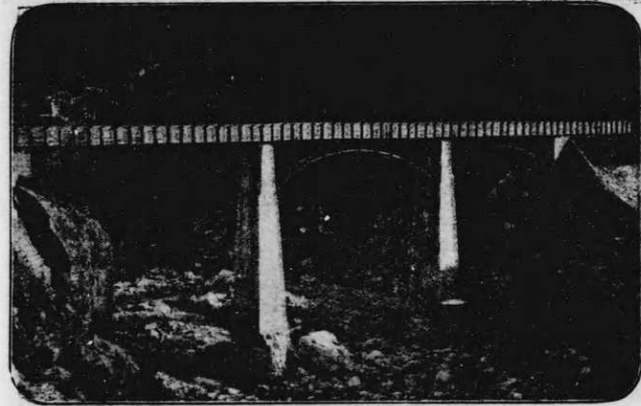


〔樂水庵〕

樂水庵

(岡備府中驛西五丁余)

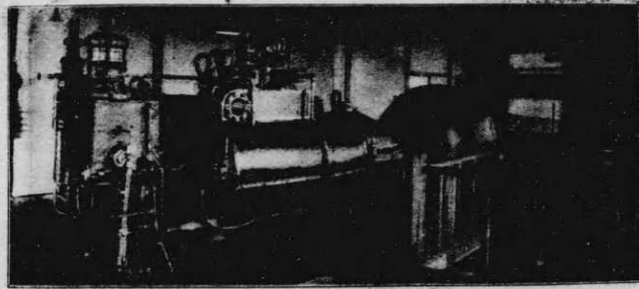
芦田川の水流府中の南、出口町の下に於て
岐れて兩分し、更らに又合して一流となる
、樂水庵は府中の有力家安原氏の別荘にし
て水流兩分の頭にあり、滔々として岩に激
し、奔りて又玉と碎く、樂水とは蓋し此清
流激奔の奇景を樂むの意なるべし
庵中庭園廣く、老樹鬱蒼として涼風袂に滿
ち、夏時庵中に居れば暑を知らず
殊に藤花は園中の名物にして、初夏新緑の
候は紫白の藤波河水に映りて其影を倒まに
し、緣由の色深くして詩人の腸を洗ふに足
る、寔に府中屈指の名所たるを失はず



水力發電所

(阿蘇府中野西北凡二里半)

本圖は發電所附近の景色なり
發電所は御調郡諸田村字永野山にあり、永野山發電所と稱す
原動力は草田川の水力を用ひ、其使用水量五拾五立方尺、落差百六十二尺、理論馬力一千二百馬力なり
水路は木樋を以て開き、水管五呎、貯水池に於ける水量六百萬立方尺、水車はフオイト式二臺、スパイラル型壹台、壹臺の馬力三百五十、送電線の電壓一万一千ウオルト、配電線の電壓二千二百ウオルト、第一府中變電所二百三十キロワット、第二吉津變電所三百三十キロワット、第三金浦變電所二百キロワットなり

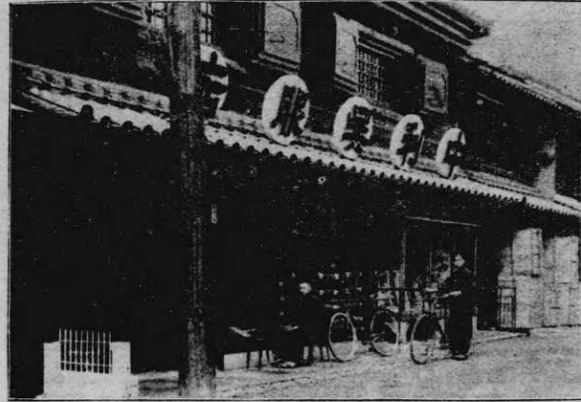


火力發電所

(阿蘇府中野東凡十丁金)

火力發電所は深安郡福山町字三吉にあり
名稱は福山發電所と稱す
原動力の設備は、ウエスチングハウス、パーリン式にして、蒸氣はダービン式なり
馬力は七百五十馬力、廻轉數は三千
發電機は交流三相式にして、五百キロワットの電力を得
此發電所は夏時大旱魃にして水力の絶へたる時に使用すべき豫備機關なり
場所は福山入江の岸に臨み、海水漫々たるところに影を映して福山名所に一を加へたり

中利吳服店へ行けは婦人小供と雖も安心し買へる



〔中利吳服店〕

中利吳服店

府中上本町
電話六番

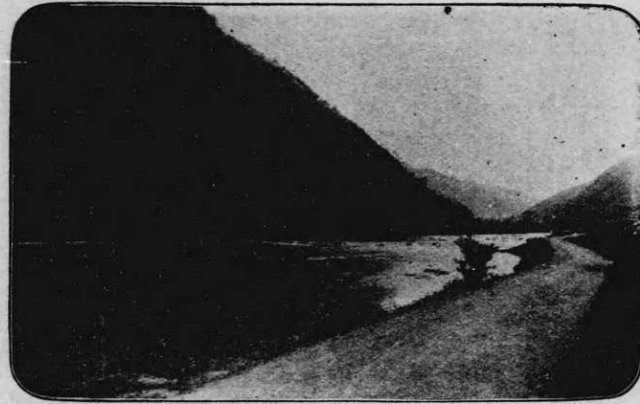
中利吳服店は府中町に於ける有数の老舗にして創業以來誠實を以て名聲高く時世の推移に伴ひ年々歳々發展し來りて今や第一流吳服店として地方吳服の供給は一に全店に命するの盛況を來たしたり全店亦地方吳服の用達を以て自任し顧客本位の營業振頼もしく其

商品の精良なる

賣價の安直なる

營業の誠實なる

『中利吳服店へ行けは婦人小供と雖も安心して買へる』この好評は乃ち全店が誠實を以て終始一貫せる賜にして著く今日の隆盛を來たしたる所以なり今や鐵道は開通せり府中町の面目も更に一新せんとする現在及未來に於ける全店の發展は更に言ふを須たさるなり



〔備後嵐山〕

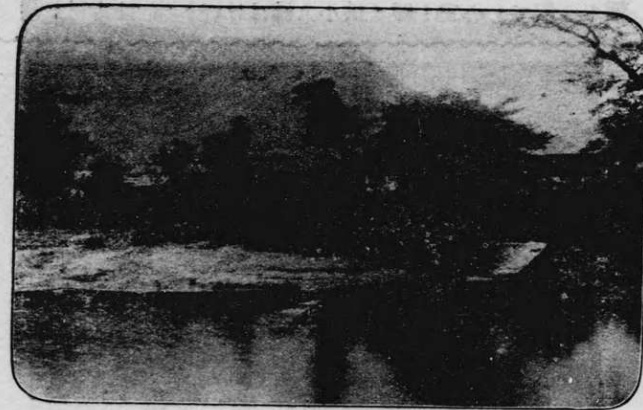
備後嵐山

(備後府中縣西二里余)

備後の名川葦田川の上流、芦品部河面村にあり、花こそ無けれ、其風姿、其翠綠、其形狀實に京師洛西の嵐山に酷似せり加ふるに鮎の名所とて夏時一日の清遊に適し、若し夫れ沿道に漁父を雇ひ、網を用ひて鮎獵を爲さんか、一日優に一二貫目の香魚を獲て家産となすに宜しく、水清く風涼しき邊りにて樹下に之を煎ば都市の上戸を喜ばすに充分なり此邊り葦田の水流は殊に清く、急流岩石に激して飛沫白く玉と散り、水力の電柱樹間を彩りて、自然と人工とを調和せり

最上醬油
 府中味噌
 無地木綿
 備後平
 本店
 電話一九番
 祖元造
 町中府後備
 店本地方

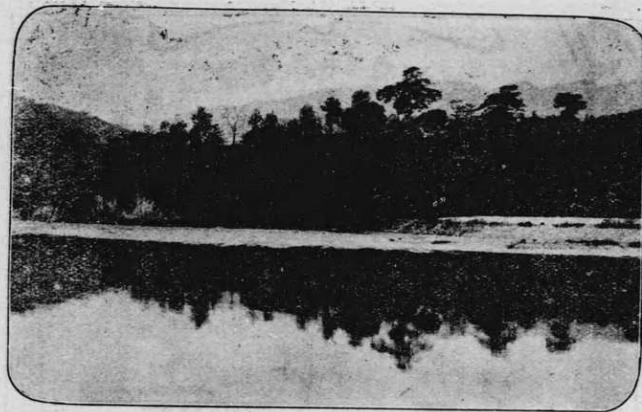
京都府品評會金賞
 京都府品評會金賞

中府水車附近

(岡備府中驛西方約五丁余)

〔水車附近〕
 芦田川の川流鑿々として府中に至れば流勢一變して更らに低地に就く、此水力を利用して水車を作りしは古き昔しの事にして、其創立者は油屋と云ひ、今の安原平三郎氏の祖先なり、其慧眼の非凡にして夙に此動力を利用し、百年長計の基を開かれたるは實に一家の榮譽のみならず、又國家の爲め慶賀すべきなり
 此邊風景に富み、清き川流と綠色濃き對岸の諸山、涼風吹きて砂塵揚らず、川は香魚多く、釣好きの雅人は長竿を携へて、岸邊を徘徊す、優に府中屈指の仙境なり



釋迦院

(兩備府中郡西南約五丁余)

地は芦品郡土生村にあり、山号を救護山と云ひ、眞言宗にして榮明寺の末寺なり。六郡志に慶長元年宮内村一宮造營事終り、遷宮ありし時住僧範性法師之に詣てたる留守に同縁の災あり悉皆烏有に歸せしを以て傳記由來知るに由なしといへり。寺は芦田川の南岸高地にあり、老松古杉枝を交へて參差たり、川を隔て、府中の地を眼下に望み、前は清き川流岩に激して白く、簌々之音を立て、流るゝさまを、松根に憩ひ松籟を聞きながらこれを望むときは、身は仙境にあるの憶ひあらしむ。

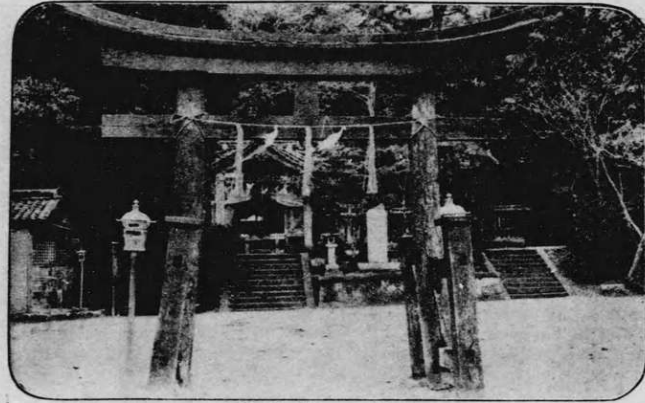
明王院

(草戸稻荷停留所北凡五丁)



〔院 王 明〕

山号を中道山と云ひ、眞言宗にして大覺寺の末寺なり。大同二年の創造にして、五層の浮圖あり、末院四十六ヶ寺を國中に有せり。本尊は大慈大悲の觀世音にておわす、左にはあみだ堂とて形ばかり残り、右には五重塔婆半天の雲に入る。名工巨勢金岡の母此處に玉塔の畫は金岡か畢生の此外國寶に入れるもの二三あり、他にも寶物多し。住居せしがば末代のしるし又は菩提のためにとて筆力を盡くして畫きしところ、今は圖寶となり、



草戸稲荷神社

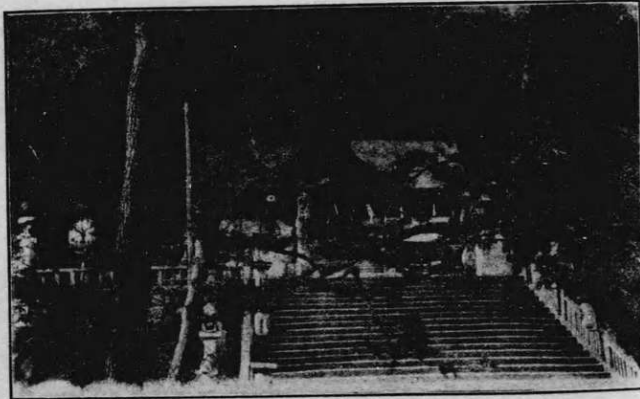
(草戸稲荷停留所北五丁余)

沼隈郡草戸村にあり、四時の参詣者絶ゆる間なく、殊に卯の祭りとて毎年舊四月の初卯の日の祭りには、近郷の村は言ふに及ばず遠く數里の外よりも参詣者夥し。稲荷大明神理介覺書に云ふ、元來社家某が宮也、或時城内に稲荷勸請あり、某を其宮守と極りたるに福山兩社吉田に祈へ其事を沮む、之れゆへ某負になりて、この稲荷社まで取りあげられたるなりと云ふ。草戸を流るゝ芦田川は此處にて川幅廣く堤防に青草多く、砂白く、兒女を遊はせるには好適の處なり。

沼名前神社

(駒驛より南西凡八丁)

延喜式の載する所にして國幣中社、渡守大明神是なり。祇園宮は疫隅社にして、祭神は素盞雄命、名稲田姫を祀る。前境内汎く松樹鬱蒼として枝葉榮々、地盤高くして鵜灣内は言ふに及ばず、遠く豫讃の山々を望見し風景絶佳なり。年中の祭典行事頗る多けれども、毎年新七月四日より全十四日に至る所謂祇園祭りは御手火と唱ふる神事あり、全十八日に神能あり、諸國より來り詣するもの非常に多く中國有數の大祭典たり。





小松寺

(新驛より西南凡八丁)

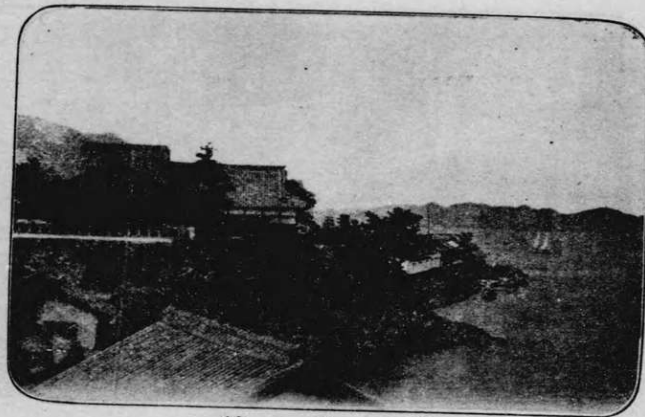
禪宗にして、山号を萬年山と稱す、開山は曇叟花禪師にて安國寺六世の住持なり傳へ云ふ壽永二年平家都落の時小松重盛の二男新三位資盛此浦に來り剃髪す、留る事月餘重盛のために此所に祭る、時に墳墓なし小松を拜植して曰く我不幸にして父に後を繼ぐも、一度び源氏を挫き天下を復さんことを禱る、願はくば力をあわせ望みを達せしめ候へと、依て小松寺と號す、後世誤つて小松内大臣重盛の手植なりと言ひ傳ふ云々あり松樹今も尙繁茂して枝葉緑濃かなり



田尻海水浴

(田尻村驛東五丁余)

新以東の海岸一大灣曲せる處を田尻灘といふ、此所一帯を田尻村と稱す、風光明媚にして、遠く豫讃の島々を雲烟模糊の裡に望み、灣内水遠淺くして海底砂地なれば、海水浴場たるに最も適せり田尻海水浴場は此地の利に依りて設けられたるものにして、白帆船々風風き、涼風吹く夏の日の熱さを忘るゝもの此處を最とするに足る、況んや輦鐵の便あり此邊一帯の山腹に杏花多く植ゆれば、春時花の候には滿山雪の如く白く、其影を海水に映して美觀此上なし



福 禪 寺

(飯驛より南凡七丁)

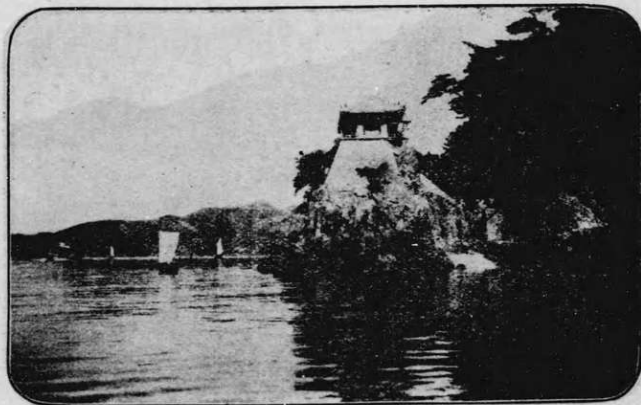
福禪寺といふよりも對潮樓と云ふ名世に高し、寺号を海岸山と稱し、眞言宗にて大覺寺の末寺、開山は空也上人なり
寛永十五年嵯峨大覺寺二品法親王嚴島へ詣で給ひし時、こゝに登りたまひ、勝景を愛して直末と爲し給ふ
對潮樓は福禪寺中にあり前には辨天島、仙醉島等の島々を望み、讃豫二州の遠山を望む、正徳元年朝鮮の聘使李邦彦南岡といふ人此處の風光を賞歎して日本第一形勝の六字の額を掲ぐ
詩歌多けれども餘白なきにより畧す



仙 酔 島

(飯驛東南凡七丁の海上にあり)

朝浦の風光を飾れる唯一の島嶼にして、周圍四十七町十二間、田浦、彦浦、大松浦、明神前、深山尻、コカキ浦、經カ崎、の七浦あり、各浦に惠美須神社を祀り、大漁を祈るといふ
俗説に平相國嚴島を此所に移さんとする、島狹くして止むと云ふ
外に大浦、赤崎浦、小松浦、月見山、牛首等の名稱あり
此島面背形ち變らざるより、一名面向不背の島とも云ふ
山上小松生ひ茂り遊歩に適し、海水浴場旅館等の設備もあり、夏時遊客多し



阿武兔觀音

(驛より南一里余)

沼隈郡能登原にあり、口無しの瀬戸に突出せる巖角に石を疊み、丹樓、青欄の色彩海潮に映して美觀言ふばかりなし、これを阿武兔岬と云ひ、樓上觀音を祭る
 武兔寺は盤臺寺といひ、禪宗臨濟宗妙心寺末の觀寺、山号を海潮山と稱す
 毛利中納言輝元卿の創造、覺叟建智禪師の開基たり
 阿武兔の名海の内外に高く、雅人顧客の杖を曳くもの多し

露心道の記に
 鞘のつやあふこのおきつ末はれて
 月にふくなり秋のはつかせ

兩備輕鐵便乗記

箕園生

作日來の降雨息み、曇天にして日射強からず、まことに好旅行日和なり、今日大正三年七月八日、我兩備輕鐵道は工事既に成り、社長河相三郎氏以下重役諸氏は線路視察のために試運転を舉行せらる、不肖また茲に便乗を許され、此記を作りて諸子に報道し得るを光榮とす

午前九時豫定の如く新らしく美しき客車は繰り出しぬ、先づ車中を見るにこはこれ並等のものなるに、磨き出せるが如き光澤は心持よく光り、窓硝子の外には磨きたる真鍮の二本の手擦りあり、こは言ふまでもなく幼者老人の窓に倚るものために注意に注意したる處なるべし、座席の柔にして美しき絨氈にて張

り詰められたるは特に並等客を大切にすてふ、新式に依れるものなるべし
 十噸の牽曳力ある蒸氣車は勇ましく煙を吐いて、府中に送るべき客車五輛を併せて史き、徐々に進行を始む、北に向ひ、更らに東に折れ水路に沿ふて駛す、沿線の水田は五六日の晴天に見かはす計り草丈け延びたり、間もなく車行寛徐たるは奈良津に於ける急勾配なり、列車は半空を駈けるが如く、路人仰いて見物せり、緑深き山間を縫ふて幾曲りか、遙かに石疊の丸形を見る、言ふまでもなく奈良津の堅道なり、一聲の汽笛暗中に入るも瞬時にして北口に出づ、嚶々の響き聞ゆるは石工の堅岩を碎きて水路を作れるなり、聽て又活と

して眼界の廣くなりしときは千田村通稱濁り池の東方に出づ、此處にて近く國道を望み、横尾堤坊に到り十字形を書きて横尾村西の横尾驛に着す

夫より北東に進み高屋川の鐵橋を越へ東して神邊に着す、横尾より終点までは尽くこれ平野のみ、概して線路は平坦、工事は行届けるを以て列車の動搖なく、乗心持頗る宜し、要するに本線路は福山横尾間に記すべきことの多くて、横尾、府中間は只々美しき列車が動搖少く進行すると言へば一言にして尽くすを得るなり

然り記るべきことの多きだけ會社も此間には力を傾注せられたることを信ず、殊に奈良津の壓道を北に抜けたる双側を一見せば直ちに硬堅鐵の如き頑實の恰も鑄の齒の如く立てるを見るなるべし

今日に於てこそア、硬き巖かなと言ふのみな

るも、此鐵の如き岩石を穿ちて五百尺に近き壓道を作りしと、山を削り大高堤を築きてこれに連絡せしめたる工程の難に想到すれば、地方交通機關完成の爲めに尽されたる當事者諸君の功勞を感謝するに足るなり

新たに鐵道の敷設せられたる地方に於てはわがちのこたなれども、沿線の人々は只々驚きの眼を張り、女小兒は列車近くに進み來りて、危険言ふばかりなし、されども流石に命は惜しきものにや、近きはあどすさりして、ワッ／＼の聲を揚ぐまことに見苦しきものゝ限りなり

午後の六時を少し過ぐる頃列車は徐々として兩備福山驛に歸り 此行を終る

福山雜記

小市街なれども我が福山の地は人口二萬に餘る、優に一市を爲するに足る、されば一度び足を陥入るゝや、土地に馴れざるの人は鬱々からざる不便を感じるに至るべし、編者此等の人々のため特に心附きたるものを記載し、福山雜記といふ、然れども僅かなる紙面に於て其全部を記載し了らんこと、到底出來難きことなるを以て、茲には只其重なる一部分を編者記憶のまゝを記したれば讀む人其心して見られよ、要は只だ福山に馴れざる人々の手引ともならむ爲のみ。

● 諸官公署

▲郡役所は兩備福山驛の西隣にあり ▲警察署は船町にあり ▲郵便局は船町に二等本局及霞町胡町の二局あり ▲税務署は本町天神川筋にあり ▲裁判所登記所は本町にあり

▲公証人上野久之助氏役場は蘭町にあり ▲兩執達吏役場は東町にあり ▲小林區署は西町公園下にあり ▲町役場は米屋町にあり ▲四十一聯隊營所、衛戍病院は野上にあり ▲聯隊區司令部、憲兵分屯所は西町霞町にあり ▲工業試験場は西町にあり ▲縣立福山中學校は霞町にあり ▲縣立福山高女學校は西町公園西にあり ▲尋常小學校は西、南、東の三校あり ▲高等小學校は西町紡績西手にあり

● 諸會社銀行

▲福嶋紡績會社福山支店は西町堀端にあり、新工場及事務所は其西南にあり ▲備後水力電氣株式會社は胡町にあり ▲兩備輕鐵本社は西町にあり ▲福山銀行は船町にあり ▲加島銀行支店及桑田銀行は笠岡町にあり

▲山陽貯蓄銀行は今町にあり ▲商工会は船町にあり ▲備後日報社は驛前にあり ▲福山新聞社は本町にあり ▲雑誌中陽社は船町にあり ▲廣島中國支局は下市にあり ▲岡山山陽新報支局は中町にあり ▲其他合資、合名に成れる會社多けれども其重なるものは事業と共に別記すべし

●旅 館

山陽驛前には栗定。吉田家。獅々見等重なるもの。東町には松の家。米屋町に坂田屋。鶴見。仲士町に高橋。桶屋町。村上。近江。近吉。平田。船町。田久保。松村。蘭町に轡屋。築切に佐野半。吉津に田中屋。其他第三流以下の者多くあるも零す。就中轡屋旅館は先年不幸にして火災に罹りたるも。今回新築成り以前に増して立派に營業し。佐野半は轡屋福山驛前に支店を開設せんと目下建築中なり

●西 洋 料 理

築切のいろは軒。蘭町の敷島館(轡屋)公園のミカドなどが有名なるもの

●釀 酒 家

銘酒君ヶ代。鐵正宗は深津町角鐵。醫者町橋高は眞心。新町橋高は橋正宗。眞賀玉。小松曳等

●醬 油 釀 造 家

としは今町の河相。笠岡町門田。深津町の弘保等重なるものなり

●呉 服 店

呉服店にては府中町山本。原田。大黒町に錢萬。河井。徳永支店。今町徳永。笠岡町に野村。霞町に徳永本店。等重なるもの

●國 産 備 後 稿

は笠岡町坂本。深津町大平。府中町マルマツ等重なる卸問屋なり

●肥 料

九十肥料は船町林爲助。關西肥料は新濱の關西肥料合資會社。東洋肥料は吉津の東洋合資會社。長久肥料は吉津の長久伊勢吉。凱旋肥料は笠岡町奥田常右衛門等なり

●ビ ー ル

朝日ビールは山陽線福山驛前栗定にて、櫻ビールは吉津町長久商店にて元賣捌を爲す

●小 間 物 卸 商

笠岡町大島屋号、全町新常、胡町松本、全町藤井吉松、吉津町内海、石井、山路の七軒が重なるものなり

●雜 貨 商

雜貨商は今町束箭堂、笠岡町小山、全ハイカラ堂、安價堂、最善寺町上杉、胡町笹田明正堂、三鼓雜貨店、中村雜貨店、吉津町大島全店等なり

●メ リ ャ ス 製 造

メリヤス製造は醫者町三谷メリヤス店にて大勉強製造販賣す

●醫 師

福山には比較的醫院多し、内外科は鍛冶屋町慈惠醫院、深津町金尾、霞町藤井、警察署前

●齒 科 醫 院

兩備福山驛北の辻を東に曲れば、其所には巍然たる新建を見る、これ赤尾齒科醫院なり、院長主赤尾巖氏は才力に富みたる人だけに、是迄手を百方に伸ばし居られたるも、自今以後は

藤野、仲仕町兎玉、天神川村上、胡町梅田、米屋町安倍、深津町平川、胡町水ノ上、中町千嶋、産科婦人科、警察署横藤野、府中町角金尾、就中金尾醫院は院長金尾惟敏氏監督の下に各醫員各科を分擔し、別に耳鼻咽喉科、エツキス光線科あり、エツキス光線を有するは廣島、岡山兩病院のみしかも金尾醫院のものの優勢なりと、耳鼻咽喉科は全院の外深津町に井ノ口醫院あり、中市に永井醫院あり、梅毒皮膚科専門には深津町に高橋醫院あり、院長高橋理一氏懇篤熱心に診療に従事せらるゝを以て人望高し、眼科には船町に戸田醫院全南濱に黒瀬醫院、中市に永井眼科醫院あり

専心院務に勉むるよし、全院が齒科手術上に巧妙なることは世の既に定評あり、隨て料金高直なりと言ふものあるも、院主は勉めて廉減せしむる方針にて貧者には施術する位の精神なりと語れり、此他府中町に久保齒科醫院、鍛冶屋町に藤井陸夫氏あり、東町に藤井齒科ありて各々其特技を揮へり。

● 辨護士

米屋町に佐藤辨護士あり氏は法曹界の雄將として名高し、其他出張所には本町に多久間氏及び深谷氏あり、府中町に篠原氏あり何れも好評

● 牛乳搾取所

本町に中村牛乳所あり、公園西手に開地牛乳

府中町

● 旅館

芦品郡府中町に於て第一流の旅館を言へば

雜記

所あり、福德町に佐藤牛乳所あり

● 活版印刷所

古吉津町に西備印刷所、本町天神川に新進の門田印刷所、深津町に倉田全、耕文館全上、府中町に宮永全上、驛前に備後印刷所、寺町に小林及小川文明堂あり、本町に安戸全上あり、西町築切に枝廣全上あり、霞町に明六舍あり

● 石版印刷所

石版五臺以上を据へたるものは中町に惠美須印刷所あり、三臺以上のは桶屋町に小山米屋町に江草、霞町に明六舍、古吉津町に佐藤等あり

を主として府中に入るもの、同館に投せざるものなく、戀一色は専ら粹人、遊客の入る多く、第二流に於て専ら眞面目なる商人宿としては近藤旅館あり、其他小旅館數多けれど記すに足らず

● 清酒醸造家

宜徳の良醇は上本町安原清三郎の醸造にかゝる、深緑りは下本町安原和平氏、其他本町橋本氏の醸造のもの佳品なり、芦田鶴、天晴れは龜屋事桑田氏の醸造に懸る優品なり

● 醬油醸造家

は前記の龜屋桑田氏の外、本町の平地、橘高、出口の金光

● 味噌

は府中の特産にして全くと龜屋桑田、下本町安原、本町の大戸、出口の金光、本町の平地

● 雜貨商及小間物商、紙商

にては本町山政雜貨店、其隣りの松本、小間

物商にては全町の高田小間物商店など重なるものなり、紙商にては本町佐藤有力なり

● タオル製造

は全町淺野タオル工場あり

● 綿木綿製造

にては平地工場、綿布會社綿木綿及其原料にては本町和田商店等有力なるものなり

● 牛乳搾取所

としては出口牧場、及府中の河村牧場あり、何れも純良の牛乳を出だす

● 追加

両備各驛々長及助役の既に定まりたるもの左の諸氏なり

福山驛長橋本譽雄氏 助役欠員 横尾驛長兒玉龍三氏 神邊全妹尾柳一氏 万能倉全竹並福太郎氏 近田全杉本幾太氏 兩備天王全世良保太郎氏 新市全古谷岩熊氏 府中町全尼子岩見氏 助役藤井貫一氏

大正三年七月十七日印刷
大正三年七月二十日發行

編輯人 奧 條 種 藏

發行人 野 本 圭 造

發行所 二 葉 舍

印刷人 土 手 下 茂 助

印刷所 西 備 活 版 所

廣島縣深安郡福山町字西町七百十二番地

同縣同郡同町字胡町百八拾五番地城見町

同縣同郡同町字古吉津町四百五拾九番地ノ壹

叶 千葉吳服店

芦品郡新市町

電話十八番

和洋雜貨は僨店に限り

安心する御買上所は

福山ハイカラ堂卸小賣部



古川良一 電話五〇五番

安心する御仕入所は
岡山ハイカラ堂卸専門部

機械製漉直シ和紙

各博覽會於共進會有功賞受領
一ケ年産額 四千五百頓價額貳拾萬圓

弊所ハ明治三十六年ノ創業ニシテ各種ノ製紙機械四基ヲ有シ此種工場中ノ元祖ニシテ其製造高ニ於テモ又東洋第一ノ工場ナリ

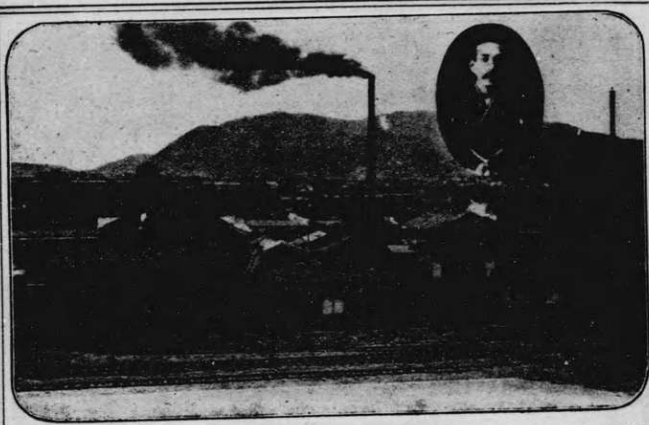
◎特色

一 弊所製品ハ最新式ノ機械ト熟練ナル技術ニヨリ多大ノ製造ヲナスヲ以テ價格ノ廉ナルヲ他ニ比類ナシ
一 弊所製品ハ機械ノ改良ト技術ノ進歩トニヨリ紙質鮮麗且ツ柔軟ニシテ纖維強ク手漉紙ノ如クニシテ經濟的ナルヲ以テ大ニ社界ニ歡迎愛用セラル
一 弊所製品ハ一般手漉紙ト異リ一切劇藥ヲ用ヒスニ原料ヲ消毒セラルヲ以テ如何ナル用途ニ當ルモ更ニ衛生ニ害ナキヲ保證ス

廣島縣福山町西町三ノ丸

福山製紙所田中八九郎

電話三〇三番 電報〇三〇又ハ(タ)
振替口座大阪二二九〇九番



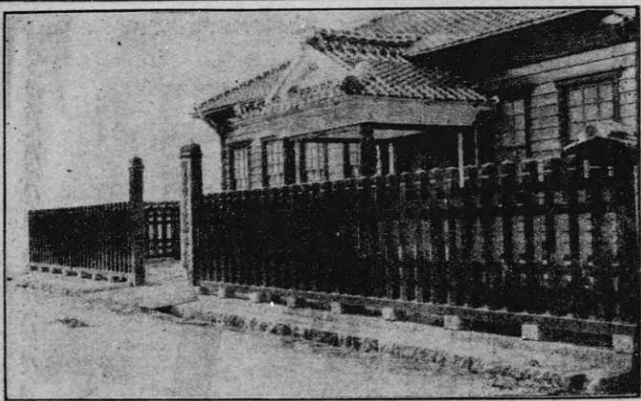


(所務事山福合組業同物織後備)

本場 備後編

備後國深安郡一圓に於て製織する備後編は約三百年の歴史を有する眞正なる本場備後編なり

備後編の起原は其年代詳かならずと雖大凡三百年前より自家用の織物を製し殘餘を販賣せしに始り其後歲月を経るに従ひ其地質の強固染色の堅牢なるを以て漸次販賣高を増し明治年代に入り頓に産額を増加したり明治三十年の比には約百万反を製出するに至れりと雖染織會の進歩は歲と共に急にして舊慣を墨守するを許さず茲に於て有識者相圖り一層物産の隆興を謀らんには完全なる組合を組織し染織



(所務事邊神合組業同物織後備)

上の智識を開發せしめ粗製濫造を防遏し常に世の需用に後れざらん事に留意するにありとし三十三年有志相携て各主産地の狀況を視察し専ら善後の方法を協議しつゝある折柄全年重要物産同業組合法の發布せらるゝに際會し三十四年七月本組合の設置認可を得るに至れり組合設置後は鋭意染色及組織の改良に努め製品は嚴重に毎反検査を勵行し染色の取締に至りては最も注意を拂ひつゝあり殊に硫化紺染は指定染工場以外に於ては一切染色するを許さず染料の如きも指定染料にして検査済合格品に非ざれば使用せしめず斯く染織意匠の改善に勉めつゝある結果漸次需用家の信用を博し組合設置以來年々産額を増加し目下一ヶ年貳百七拾万反を製出するに至れり

旅館 戀一色

備後府中町

兼料理店

構内茶店

長電話十一番

英國皇室御料 帝國信託省御用

ラヂオ自轉車

實益と趣味

自轉車の生命は實益と趣味に在り、此の本分に愜ひて終始一貫渝らざるは、獨特の製作に成れるラヂオの全價值也

輸入元 東京銀座 大阪江戸橋 日米商店



代理店 福山胡町 二輪商會

長電話二番

吾輩は金線サダ一推挙す



帝國醫科大學教授が
親しく御指導を給はる
清涼飲料は金線
サイダー
機械其他殺菌の設備に
於て日本第一の模範工
場を有するは金線
サイダー
故に金線サイダーは天
下唯一の衛生飲料
なる事を證す

洋酒各種
食料罐詰
各國賣藥
醫療器械
綑帶材料

卸商

備後福山今町

① 藤井宗次郎

電話一四五番

御料理仕出し

福山下魚屋町

旅館 仙醉館

高橋 七一

長電話九十番

洋家具製造業

福山府中町

中山豐次郎

國產備後縞

製造卸商

福山字地吹鷹取橋

福山織物合名會社

電話四九四番
振替大阪八九九八番

福山區裁判所前

辯護士 篠原迪法律事務所

備后福山船町

株式會社

第六十六銀行福山支店

長電話六六番

全町大黒町派出所

電話貳〇五番

備後福山笠岡町

奥田肥料店

備後國深安郡福山町字船町

株式會社 福山貯蓄銀行

備後縞製織販賣

並各種染色商

旭日生命保險株式會社代理店

備後國深安郡神邊

泉原彌一郎

振替口座大阪一六五三五番

廉價販賣

大橋時計店

各種時計
和洋眼鏡
金銀寶石
指輪各種
貴金屬品

福山笠岡町

國產
織物
眞綿

備後福山吉津町

金政商店

振替口座大阪五二〇五番
長電話四百三十五番

國產紡織無地製造卸販賣

備后府中本町

備後綿布株式會社

(電略ビフ)

振替大阪貳壹五八
電話四十三番

備後福山町

旅館 鶴見家

長電話二一九番

國產木綿製造卸商

備後神邊

龜川新助

三電略(カ)
振替口座大阪一四六〇二番

動力織機

國產備後編

備後神邊

桑田隆吉

製造販賣

株式會社

尾道貯蓄銀行福山支店

備後國深安郡福山町字船町

天覽御用賜
備後鞆港
保命酒
鞆保命酒合資會社
國釀造元
岡本龜太郎

廣島縣深安郡福山町字船町

株式會社

福山銀行

電話長三番
二〇四番

福山町字霞町

霞町派出所

電話八三番

深安郡川北村

神邊派出所

備後福山笠岡町

株式會社

桑田銀行

備後鞆町

桑田銀行鞆支店

備後中條村

桑田銀行中條支店

備前田ノ口港

桑田銀行田ノ口支店

備後千田村横尾

桑田銀行出張所

內科一般
皮膚科

深安郡新茶屋

吉田醫院

電話横尾四番

京醫學士
吉田龍藏

優等
商標 登錄
蘆田正宗

清酒
商標 登錄
寒牡丹

釀造發賣元

廣島縣蘆品郡出口町

蘆田酒造合資會社

長電話七十二番

福山笠岡町

大塚帽子製造所

長電話二五一番
振替(大阪二八八七番)
(福岡八一八番)

備後神邊

國產備後編
製造販賣
藤井豐次郎

宮内省

御買上ノ榮ヲ蒙ル

登録
商標

十六味地黄保命酒

備後鞆町

醸造元 入江豊三郎

電話 十三番

國產綢緞卸

備後新市町

新市織物株式會社

長電話 七番

(新市天王驛下車便利ナリ)

備後福山米屋町百〇五番

清賞館坂田万吉

長電話 二十八番

福山驛前

清賞館坂田支店

長電話 二十五番

歐米御料理

福山公園東坂

ミカド

長電話 三九〇番

湯とうふ

會席御料理

並ニ 御仕出し

備後福山上魚屋町

魚利

電話四百〇八番

各國製

建具一式

卸小賣商

備后福山府中町

小川助治商店

長電話二四〇番

浪壽

まるか

福山上魚屋町

開原百松

動力織機織

國產織物
製造販賣

備後國産品郡宜山村上山守
合名會社

備後織布商會

(横尾驛下車西北へ約貳拾八丁)

紺・淺黃・無地
紵・縞・各種

製造販賣

備後産品郡宜山村

宜山織布合名會社

(横尾驛下車西北約貳拾五丁)

國產 縞紺淺黃無地
製造販賣

明正合名會社

(備後神邊驛)

備後織物同業組合事務所東隣

國產 縞專用紺糸製造卸商

元祖

並ニ 縞製造

備後神邊 高垣熊太郎

振替口座大阪二二八〇〇番

太物卸問屋

紺、縞、無地

備後芦品郡宮内

合資會社 高橋商店

國產 備後芦品郡新市町

太物卸問屋 奥田商店

紺、縞、無地

長電話十四番
振替大阪第一三九七番
振替東京第一〇貳〇貳番

國產 太物卸問屋

紵木綿、縞、紺、淺黃木綿類

備後芦品郡新市町中央

眞谷織物合資會社

新市驛下車 (電話長壹壹番)

太物卸問屋

紵、縞、無地

備後芦品郡新市町

野宗寅市商店

戸手驛下車西へ三丁 (電話壹六番)

ひふ病 福山クログネヤ前

ばい毒

高橋醫院

りん病

入院室アリ

(電話二四三)

大阪三軒屋

美芳園支店

福山下魚屋町

中村甚吉

電話三四三番

備後福山桶屋町

新友事村上旅館

長電話百〇貳番

化粧品石鹼卸問屋

三ツワ家庭藥販賣

福山大黒町

原田商店

電話一七一番

振替大阪九九七六番

商標 下醬油釀造

酒旭菊水特約販賣

備後福山深津町 電話四一六番

弘保釀造場

深安郡神邊

鼓眼療院

▲入院隨意▼

備後福山西町(福山警察署北横)

產婦人科 藤野婦人科療院

(電話貳參五番)

福山鍛冶屋町(電話二五六番)

藤井齒科醫院

院主 藤井睦夫

福山町宇船町(警察署前)

眼科專門 黒瀨眼科醫院

電話貳參番

福山桶屋町(入院隨意)

內科 小兒科 外科
伊藤醫院
電話貳八貳番

福山町深津町(入院隨意)

耳鼻喉科 井ノ口醫院
電話四〇五番

大日本政府登録商標



喜久御藥

藥劑一切

正興六神丸日本元賣捌所

帝國博愛授産部

トクトル調劑本部

大日本福山吉津坂

岡田商會

業主 岡田利三郎

振替口座大阪一七二六九番

表具師

特

色

- 表装に意匠を凝らすこと
- 代價の低廉なること
- 取扱の確實なること
- 仕上げの迅速なること
- 製造の高尙優美なること

右多少に不拘御用命被下度候以上

福山西町(公園西)裏ノ丁

吉備藝術社

奥條箕園

●弊所儀は活字等全部取揃居り候間御用命仰付願上候

活版、木版

備後福山古吉津町

銅版、石版

西備印刷所

寫真版

印刷業

●御用命の節は御一報被下候らへば早速に参上可仕候

美術的諸看板製作

二葉舍

福山城見町

國産

太物卸問屋

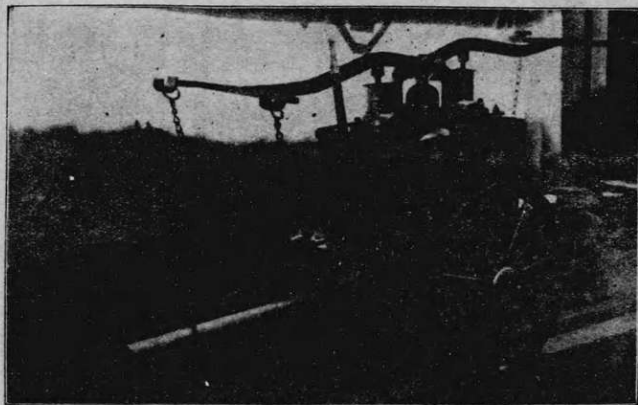
森田誠一

備後芦品郡戸手

電話三番

天王驛ヨリ東へ「壹丁」

最新式唧筒運轉輕水勢宜シ



備後福山桶屋町

河野唧筒製造販賣處

電話長二〇八番



藥物衛生材料商
度量衡器販賣所

備後府中上本町
合名 藤田藥廠

電話四十二番
振大

廠長兼技師 藤田庄兵衛
支配人 藤田重雄
書記 小寺辰雄
現業主任 河村辰雄

289
483

花柳皮膚病
外科皮膚病

科科科

專門

(入院隨意)

外科
皮膚科

金尾醫院

醫學士

金尾靜衛

福山深津町

(電話七四番)

EPSON 小冊子 印刷

各埠博覽會進品評會金銀銅牌受領

商標

商標



老
酒

釀造元

備後橫尾

桑田酒造合資會社

電話二番

福山府中町角

山本呉服店

長電話壹番

339
473

1 PCC

終

